

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書様式】

(モデル地域名 御調町地域)

I. 地域の概要 (平成15年4月現在)

御調地域 (モデル校数: 中学校1校, 高等学校等1校)
御調町立御調中学校
広島県立御調高等学校 全日制課程, 学科名 [普通科]

II. 平成15年度の実践研究の概要

1. 推進地域の研究の見通しを踏まえて定めた, モデル地域としての現状及び研究の計画・見通し等

(1) モデル地域における「総合的な学習の時間」の現状と問題点

連携型中高一貫教育校である御調中学校と御調高校は, これまで「総合的な学習の時間」を個々に実施してきたものの, その系統性や関連づけを十分に踏まえた取組みにはなっていなかった。

(2) モデル事業の実践研究について

[2年間を通じた研究の計画・見通し]

解決すべき課題は, 中高一貫教育の内容を一層充実するために, 中高の「総合的な学習の時間」を有機的に連結させることである。

そのため, 平成15年度では, 中学校段階, 高校段階での学習目標や身につけさせたい資質や能力(Ⅱ-3-①-B参照)を整理し, 中学校と高等学校における学習分野及び課題設定と学習の進め方を研究する。

平成16年度では, 中高で育てたい6つの資質や能力を系統的・発展的に整理して, その内容を明確化し, 中学3年次と高校1年次の学習の接続内容を研究する。

[モデル事業としての取組みの評価の観点と検証の方法]

- ① 中高の「総合的な学習の時間」が有機的に連結しているか否かの評価の観点は,
- ・中高各段階での学習目標が系統的・発展的なものになっているか。
 - ・中学校段階, 高校段階で身につけさせたい6つの資質や能力の内容が明確化され, 系統的・発展的なものになっているか。
 - ・中学3年次と高校1年次の学習内容が接続したものになっているか。
- の3点である。

② 検証の方法は,

- ・御調中学・高校教職員による評価
 - ・研究を進めるための講師・指導者による評価(指導・助言を含む)
 - ・中高合同発表会, 教職員研修会等での取組み報告に対する校外参加者による評価
- 等である。

2. 平成15年度の取組み概要

① モデル地域の取組み

- ・ 中高の「総合的な学習の時間」の授業公開（平成15年9月29日）…文部科学省視学官・総括係長，県教委指導主事等来校，モデル地域・モデル校関係者参観
- ・ 中学校文化祭での高校生の総合的な学習の時間の研究発表（平成15年11月2日）
- ・ PTA・地域への中高合同発表会開催の案内（平成15年12月1日）
- ・ 中高教職員合同研修会の実施（平成15年12月9日，12月15日）
- ・ 「総合的な学習の時間」“まなびのとびら”中高合同発表会の開催
(平成15年12月15日)
- ・ 中高一貫教育公開研究会時に総合的な学習の時間の接続について報告
(平成16年1月30日)
- ・ 連携型選抜入試における中学校での総合的な学習の時間学習成果の活用
(平成16年2月4日)
- ・ 中高教職員合同研修会の開催（平成16年2月18日）

② 実践例の紹介

(ア) 活動名

広島県立御調高等学校・御調町立御調中学校「総合的な学習の時間」“まなびのとびら”中高合同発表会（平成15年12月15日）

(イ) 活動の意図・目標

第一部 生徒の学習発表会

生徒が自ら決めた課題の解決に向けて取り組む学習状況を公開し，本校の実践をもとに学校関係者との情報交換を行うことを目的として，研究成果を発表する。また，連携型中高一貫教育校である御調中学校（総合的な学習の時間の名称を中highで統一）の生徒による発表も行い，中高生徒相互の学習の場にする。その際，校外参加者による外部評価を求める。

第二部 教職員研修会

中高教職員及び県内学校の教職員を対象とする，広島大学大学院教育学研究科小原友行教授による講演会（演題；「総合的な学習の時間」の効果的な展開の課題）及び県教育委員会波多野指導主事による指導助言をうけて，総合的な学習の時間の一層の充実を図る。

(ウ) 活動の展開（指導計画）

- i 発表に向けての事前指導（校内及び会場でのリハーサルを含む）
- ii 高校生5テーマ（「自然」，「生活」，「創作」，「メディア」，「文化」・「国際」の講座から各1テーマ），中学生2テーマ（国際理解，福祉）の個人又はグループ発表
- iii 発表に対する中高生徒の相互評価及びその他参加者による評価

3. 平成15年度の成果及び課題

① 成果

i 学習目標、育てたい6つの資質や能力等について、次のように整理した。

A 中学校並びに高校での学習目標（ねらい）

御調中学校；1年次～2年次前期

「地域への関心を高め、問題解決の力を育む」

；2年次後期～3年次

「生き方への関心を高め、自分の進路を考える」

御調高等学校；1年次

「現代社会の中での職業と生活のかかわり、職業を通しての自己実現の方法について考えるとともに、生涯学習への意欲と態度を育む」

；3年次

「課題解決型学習を通して、学習方法を身につけるとともに、自主的に生涯学習を深めていく態度と資質を育てる」

B 中高で育てたい6つの資質と能力

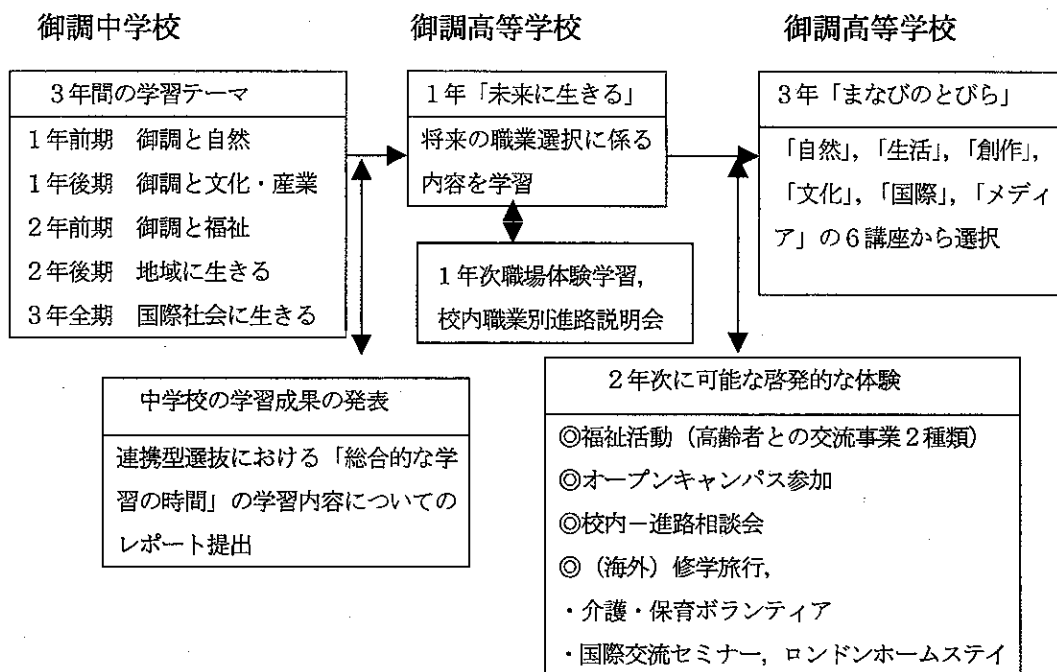
「課題発見・解決能力」, 「学び方やものの考え方」, 「主体的に判断する力」, 「創造的に取り組む姿勢」, 「主体的な学習態度」, 「プレゼンテーション能力」

C 学習の進め方

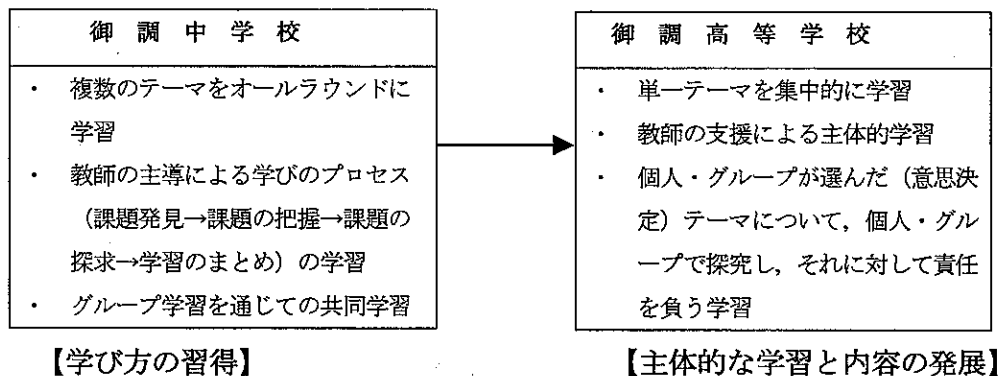
	御調中学校	御調高等学校
実施テーマの決定	全体枠－教員, 内容－生徒	全体枠－教員, 講座－生徒
学習内容の決定	全体枠－教員, 内容－生徒	生徒
学習日程の決定	教員	教員及び生徒
学習時間配分の決定	教員	生徒
学習の単位(グループ・個人)	グループ	個人又はグループ

ii 「総合的な学習の時間」の中高の接続と発展について、次のような体系図を作成した。

A 学習テーマ（内容）の観点から



B 学習内容・方法の観点から



C 評価方法の観点から

中高ともに、学習活動の様子（準備、計画、取組み姿勢、発表）、学習経過の記録、自己評価、相互評価、レポートをもとに総合的に行う。

② 課題

- (ア) 中高の接続と発展に係る細部にわたる検証を進め、内容の一層の充実を図る必要がある。
- (イ) 大学教授を招いての教職員合同研修会は実施したが、中高生徒対象のものは生徒合同発表に対する講評のみにとどまった。地域の人材等の活用による中高合同講演会、あるいは、御調中学生に対する御調高校生・卒業生による体験発表会の実施を模索する。

行事の前後に集中しがちであった。学習の系統性や内容等について、より綿密な連携をすすめる。

Ⅲ. 平成16年度の実践研究の概要

- ① 中高で育てたい6つの資質や能力を系統的・発展的に整理する。そのため、他のモデル地域等の事例研究を中高それぞれで行い、モデル地域等研究推進委員会の場で検討し、策定する。…………平成16年7月末までに
- ② 系統的・発展的に整理した6つの資質・能力の内容を具体的に明文化する。そのため、モデル地域等研究推進委員会の場で検討し、策定する。…………平成16年10月末までに
- ③ 中学3年次と高校1年次の学習の接続内容を詳細に研究し、中高と系統的・発展的なものし、有機的な連携を確かなものとする。そのため、モデル地等研究推進委員会の場で検討し、策定する。…………平成16年12月末までに
- ④ 広島大学大学院教育学研究科小原友行教授の指導を受け、評価方法についての研究を進める。…………平成17年2月末までに

(別紙2)

「総合的な学習の時間」モデル事業広島県推進地域
15年度取組みの概要、16年度の計画

実施時期	取組み概要	取組みのねらい等 (事業の評価の観点も含む)
平成15年6月	「総合的な学習の時間」モデル事業 推進地域、モデル地域、モデル校指定	
〃	(モデル地域単位) 第1回 モデル地域等研究推進委員会 ・御調町地域(御調中・高)の現状分 析等についての協議 ・モデル地域としての研究主題・研究 計画・研究内容等策定	・研究主題・計画・内容等を 踏まえ、中・高の有機的な 連携を深めるため「総合的 な学習の時間」実施内容・ 計画等を再検討する。
平成15年7月	(モデル地域単位) 第2回 モデル地域等研究推進委員会 ・文部科学省担当者訪問への対応協議	・日時の調整、訪問日の日程 等を協議する。
平成15年9月	(モデル地域単位) 第3回 モデル地域等研究推進委員会 ・文部科学省担当者等訪問日の具体的 学習内容の決定	・中高の取組みの具体を端的 に示せる参観内容を構築 する。
〃	(推進地域単位) 文部科学省担当者訪問並びに第1回推 進地域全体会合 ・モデル事業の趣旨再確認 ・御調町地域、御調中・高の取組み並 びに県内の他モデル地域、モデル校 に対する指導・助言	・指導・助言事項を踏まえ、 推進地域、モデル地域、モ デル校で評価を実施し、計 画を見直す。
平成15年11月	(モデル地域) 第4回 モデル地域等研究推進委員会 ・御調中・高合同研修会についての協 議、講師・研修内容の決定 ・御調中・高「総合的な学習の時間」 合同発表会についての協議、日程・ 発表内容等の決定	・地域の教育力を最大限に生 かす福祉教育の推進を図 る。 ・「総合的な学習の時間」の 効果的な展開を求める。 ・御調中・高の生徒研究成果 発表を通して、取組みに対 する外部評価を求める。 ・大学教授、県教委指導主事 による指導・助言を受け る。
平成15年12月	(モデル地域) 第5回 モデル地域等研究推進委員会 ・中高合同発表会の成果・課題等につ いての協議	・次年度に反映する。

平成16年2月	(モデル地域) 高等学校推薦入試(連携型選抜)における中学校での「総合的な学習の時間」学習成果の活用	・中学校ではレポートのテーマを設定し、高校へ提出する。高校ではレポート審査及び面接により、学習内容を確認する。
〃	(モデル地域) 第6回 モデル地域等研究推進委員会 ・御調中・高合同研修会についての協議、講師・研修内容の決定	・「総合的な学習の時間」の評価に係る研鑽を深める。 ・大学教授、県教委指導主事から次年度に向けての指導助言を受ける。
平成16年3月	(モデル地域) 第7回 モデル地域等研究推進委員会 ・中間報告に係る協議、報告内容策定	・今年度の成果・課題等を明らかにし、次年度の取組みに反映する。
平成16年4月	(モデル地域) 平成16年度第1回 モデル地域等研究推進委員会の開催 ・平成17年度取組み計画・内容等の協議、策定	・前年度の課題を踏まえ、今年度の取組みを推進する。
平成16年7月	(モデル地域) モデル地域等研究推進委員会の開催	・中高で育てたい6つの資質や能力を系統的・発展的に整理する。
平成16年10月	(モデル地域) モデル地域等研究推進委員会の開催	・系統的・発展的に整理した6つの資質・能力の内容を具体的に明文化する。
平成16年12月	(モデル地域) 第3回 御調中・高「総合的な学習の時間」合同発表会開催	・中・高の実践をもとに、県内の学校関係者との情報交換を行う。
〃	(モデル地域) モデル地域等研究推進委員会の開催	・中学3年次と高校1年次の学習の接続内容を詳細に研究し、有機的な連携を確かなものとする。
平成17年2月	(モデル地域) 高等学校推薦入試(連携型選抜)における中学校での「総合的な学習の時間」学習成果の活用	・平成15年度に同じ。
平成17年3月	報告書提出	